※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書Ⅱ（光村図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰで学んだ書道の基礎をさらに発展させて、書の表現の幅を広げましょう。
・芸術としての書を、自分の表現として制作し、自分の気持ちや他の人の気持ちを話し合い、表現することの意味を考えます。
・教材費が年間約３０００円必要です。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通じて、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）　書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
（２）　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かに表現をしたり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
（３）　主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	漢字の書	・楷書、行書、草書、篆書、隷書の古典臨書を通じて、表現形式に応じた全体の構成と漢字の書を構成する様々な要素を理解する。 ・漢字の書の書体や書風に即した用筆・運筆、次兄、全体の構成を工夫しながら表現する(創作)	a:漢字の書を構成する様々な要素や、各書体の古典の特徴と用筆・運筆とのかかわりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。（鑑・知） a:各書体の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。（技） b:各書体の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:各書体の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c:主体的に漢字の書の創造的な表現学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品	作品 プリント	板書 プリント 振り返り 観察

※令和４年度以降入学生用

2	漢字仮名交じりの書	・目的や用途、表現様式に応じた全体の構成と漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解する。 ・感興や意図に応じた、漢字（楷書、行書、草書、隷書、篆書）と仮名（平仮名、片仮名）の調和等による、全体の構成を工夫しながら、表現する（創作）。	a:漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素や、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） b:線質・字形・構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている（鑑・知） a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。（技） b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や糸に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における所の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c: 主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑） c: 主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習に取り組もうとしている。	作品	作品 プリント	板書 プリント 振り返り 観察

※令和４年度以降入学生用

	篆刻	・篆刻を構成する様々な要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解する。 ・篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し、工夫しながら表現する。	a:篆刻を構成する様々な要素、書体・書風や配字による表現の効果を理解している（知） b:線質・字形・構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。（鑑・知） a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、書体・書風、配字等による全体の構成の技能を身につけている。（技） b:篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 b:作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c: 主体的に篆刻の創造的な鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑） c: 主体的に篆刻の創造的な表現の学習に取り組もうとしている。 c:	作品	作品 プリント	プリント 振り返り 観察

※令和４年度以降入学生用

3	仮名の書	臨書を通じて、古筆（平仮名、変体仮名、片仮名）の表現形式に応じた全体の構成と仮名の書を構成する様々な要素を理解する。 ・古筆の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する（創作）。	a:仮名の書を構成する様々な要素や仮名の古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。（鑑・知） a:仮名の古筆に基づく効果的な表現の技能、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。（技） b:仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:仮名の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c:主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 C:主体的に仮名の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品	作品 プリント	板書 プリント 振り返り 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度